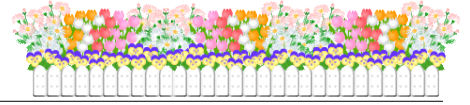


# 千葉県障害者就業・生活支援センター 連絡協議会だより



## 会長挨拶

早いもので、平成26年度も年度末を迎えました。4月に会長職を拝命しスタートしたのがつい昨日のこのように感じられます。この感覚とは反対に、当連絡協議会では平成26年度も様々な活動にあたって参りました。千葉県商工労働部から受託している「障害者就労促進チャレンジ事業」においては、80件を超える短期職場実習により、50名以上の雇用につながる結果を残す事が出来ました。また、企業・障害者の意識改革を目的とした見学会・研修会においては、千葉労働局との連携により、これまで以上に多くの企業や障害者の方々に参加いただくことが出来ました。各部会の取り組みにおいては、広報部会の活動により今年度初めて「千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会パンフレット」を作成することが出来ました。ご覧いただいた皆様からは「非常に分かりやすい」というお言葉を頂戴しております。制度施策部会では各センターに対してアンケート調査を実施し、障害者就業・生活支援センターの現状について把握し、連絡調整会議において他機関の皆様にお伝えする試みを実施いたしました。また、研修部会ではこのアンケートの結果を受けて、現在各センターが抱えている課題をテーマにスタッフ研修を開催いたしました。このように、平成26年度の当連絡協議会は、その活動を通して ①他機関とのスムーズな連携 ②障害者就業・生活支援センタースタッフの人材育成に取り組んできたといえます。今年度の検証をしっかりと行い、平成27年度もこの取り組みを更に加速していきたいと考えております。また、平成27年度は、夷隅圏域にて新たに「障害者就業・生活支援センター事業」を受託し、我々の仲間に加わる法人がございますので、スムーズにセンター業務をスタートさせ、利用者の益に貢献できるよう協議会としてサポートしたいと考えております。

平成27年2月に開催された「障害者就業・生活支援センター事業をより深く考えるための 全国フォーラム」（全国就業支援ネットワーク主催）において、平成27年度の新規事業について、厚生労働省の方から情報提供がありました。ポイントとしてあげられていたのが「企業支援の充実」と「就業・生活支援センターのネットワーク化」でした。どちらも千葉県では既に関係機関との連携により取り組んでいる内容であり、改めて当連絡協議会の意義を再認識する機会になりました。今後は、全国において先駆的な取り組みとしての協議会活動を意識し、より良いネットワーク構築に向けた好事例として発信していけるような活動を目指していきたいと考えます。そのためには、日頃から当連絡協議会を支えていただいている皆様のご理解・ご協力ならびに叱咤激励が欠かせません。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 会長 藤尾 健二

## 次年度見据えて 平成26年度第2回千葉県障害者就業・生活支援センター 連絡協議会連絡調整会議 開催



平成27年2月27日（金）に千葉市民会館にて、初参加の千葉県就労継続支援事業A型連絡協議会を含めた26団体44名にご参加いただきました。

当連絡協議会からの活動報告や各参加団体からの情報提供とシンポジウム形式で「難病の方の就労支援」と「定着支援」を題材にキャリアセンター、長生プリオ、ビック・ハート松戸から報告致しました。

難病の方の就労支援については、障害者手帳の取得が難しい方に対する就労支援の困難さが共通課題として報告されました。特に一般枠での就職困難な状態に加え、障害者雇用の枠組みにも入れない状態から精神的に支障をきた

し、二次障害に陥ってしまう可能性が高い事が危惧されており、1日も早く雇用施策に乗せてもらう事、支援機関の連携、就労継続支援A型の役割に期待される内容となりました。

定着支援については、地域格差はあるものの、増え続ける対象者への問題と特に離職率の高い精神障害者への支援において、多角的に捉えたアセスメントと支援計画やジョブマッチングの重要性について報告されています。

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 副会長 古川 亮

## 障害者就労促進チャレンジ事業報告

### ○企業等の理解促進

#### 企業向け見学会

計6回22社、16機関に、雇用率を達成している職場を見学していただき、現時点で9社が新たに障害者雇用を開始されました。

#### 法定雇用率未達成企業相談会

計6回54社、11機関に、障害者が訓練している現場を見学していただき、現時点で12社が新たに障害者雇用を開始されました。

圏域名	企業向け見学会	圏域名	法定雇用率未達成企業相談会
松戸圏域	11月20日(木) トラスコ中山(株)にて開催	山武圏域	9月19日(金) 社会福祉法人ワーナーホームにて開催
習志野圏域	11月25日(火) (株)ガリバーインターナショナルにて開催	君津圏域	10月30日(木) 木更津市民総合福祉会館にて開催
海浜圏域	1月19日(月) (株)ワノテックジャパンにて開催	市川圏域	12月16日(火) ユースキャリアセンターフラッグにて開催
印旛圏域	2月6日(金) (株)シーエックスカーゴにて開催	柏圏域	1月28日(水) 社会福祉法人青葉会にて開催
市原圏域	2月20日(金) (株)タカサにて開催	香取圏域	1月29日(木) 佐原公共職業安定所にて開催
安房圏域	3月9日(月) 休暇村館山・館山商事(株)にて開催	船橋圏域	2月26日(木) 社会福祉法人大久保学園にて開催

### ○短期職場実習

企業側と障害がある人への「働く」ことへの理解を深めるため、81社で84名の方が実習され、57名が就職に繋がっています。

### ○障害のある人等の意識改革

計4回165名の障害当事者に、一般就労されている障害当事者の仕事ぶりや企業の様子を見て頂きました。

圏域名	障害者向け見学会
野田圏域	7月17日(木) 協栄流通(株)にて開催
市原圏域	9月25日(木) リクルートスタッフイングクラブ(株)にて開催
夷隅圏域	10月23日(木) 西川水産(株)にて開催
千葉圏域	11月1日(土) 障害者職業総合センターにて「働く発達障害者からのメッセージ」中央セミナーを開催

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会事務局  
本郷宏治

## 参加者に勇気!! 働く障害者からのメッセージ発信事業報告

今年度、障害者就労促進チャレンジ事業「障害のある人等の意識改革」の一環で、“発達障害者からのメッセージ発信セミナー”を開催しました。

基調講演として千葉障害者職業センター田川様より「発達障害をお持ちの方の就労の現状」についてお話しいただきました。またその後のシンポジウムでは実際にお勤めされている当事者から、診断に至るまでの経緯や支援機関とのやり取り、入社後にやりがいを得るまでの過程など、当事者ならではの思いをお話しいただき、当事者の方はもちろん、支援者側の私たちにとっても非常に考えさせられる内容ばかりでした。

今回のセミナーには、100名以上にご参加いただき、開催後に取ったアンケートでは「自分にも仕事ができるかもしれない」「勇気をもらった」などのお声を頂きました。今後もこのような催しを通して、一社でも多くの企業で、一人でも多くの障害当事者がスムーズに就労生活が出来ればと願います。



障害者就業・生活支援センターいちされん 西村拓士

### 研修部会報告

今年度、研修部会では平成26年9月に「就労支援における虐待防止について」、平成27年3月に「困難事例についての事例検討」をテーマに2回の研修会を実施しました。各センターの協力で充実した研修会となり、参加者から活発に意見が出ていたり、アンケートからも様々な要望が挙がりました。研修会もさることながら、研修会後の情報交換会を通してより一層センター間の連携が深まり、支援の質の向上に少しでも繋げることができたのではないかと思います。

研修部会 部会長 矢吹 亮介

## 特集!! 制度施策部会アンケート調査報告

本年度の制度施策部会では、日頃の業務で困難と思われるケースや障害者雇用に関する課題について、連絡協議会加盟16センターを対象にアンケート調査（以下、調査）を実施しました。その結果、主な回答については以下の通りでした。

### 【問1】「就労支援をするうえで、困難なケースと思われること」

様々なケースがありましたが、難病疾患者の支援に関する回答が非常に多く挙がりました。

たとえば『障害者雇用施策と難病支援施策との関係』においては、難病疾患者の全てが障害者雇用施策に該当せず、障害者手帳が取得出来ない難病疾患者はそれぞれの支援機関や企業の努力だけに頼っている現状がある事がわかりました。加えて難病指定外の疾患の場合、障害福祉サービスや障害雇用施策にも該当しないことから、結果的に就労できない方への支援について検討する必要があるとの意見もありました。

その一方、難病の専門支援機関である「地域難病相談支援センター」や「難病情報センター」とは、中ポツセンターの難病疾患患者への支援件数の少なさから連携が図れておらず、互いが難病疾患者の就労に有効な社会資源であるという認識の低さから、それぞれが単独で就労支援を実施していることもわかりました。

また『難病疾患者の就労支援』において、就労・生活の一体的な支援の必要性は認識しているものの、国が指定する130の難病に関する基本的知識の不足から支援が遅々としていること、難病疾患者の特性の一つである「進行性」や「突発的な発作」、「容態の急変」等から採用時とその後状態が大きく異なる場合があり、中ポツセンターの支援だけでは困難を来すこと等がわかりました。

これらから、支援体制及びその手法については今後の課題としました。

### 【問2】「障害者就業・生活支援センターから見た障害者雇用に関する課題」

回答を大きく分類すると①「キャリアパスシステムの構築」と②「短時間労働制と経済的自立の困難」の2つとなりましたが、これらはそれぞれが独立的な課題ではないことが自由記述等から読み取ることができました。

#### ①キャリアパスシステムの構築

一般社員には明確に昇給や昇進などのキャリアパスシステムが構築されているのに対し、障害のある社員に関しては明確なキャリアパスシステムが存在しないこと、また障害特性から作業環境や内容の変更を苦手とする場合を除き、障害のある社員にも一般社員と同様のキャリアパスシステムの必要があるとの調査結果が得られました。

一方で人材流失を防止する観点から、障害のある従業員を正規社員へ登用したりするなど、キャリアパスシステムに乗せたりする動きはあるものの、対象は身体障害者が主流であるとの回答もありました。

#### ②短時間労働制と経済的自立の困難

全体的に障害者雇用施策の在り方について議論する必要があるとの回答が多くありました。

障害者雇用率の算定を、障害内容を含む「障害者手帳の有無」と「労働時間」で算出しているため、障害内容と労働時間を調整した雇用が多く見受けられ、障害者雇用で働く障害のある社員の多くが「非正規社員」であることがわかりました。

また調査結果では、精神障害等の障害特性から短時間勤務を希望する障害者を除き、労働時間に制約のない障害者、とりわけ知的障害者が非正規社員となりやすいということがわかりました。

これまでの障害者雇用は、障害基礎年金を考慮して就労支援を展開してきた感がありますが、ここ数年の障害者雇用の主な対象は精神障害者や発達障害者などの障害基礎年金を受給していない障害者が多く、短時間労働では経済的な自立に至らない状態となっていることが調査結果から判明しました。さらに経済的自立がそもそも困難であることに加え、家庭環境等の生活面での変化が原因で退職することになりやすい障害者が生活困窮者となる恐れが高いことも調査結果から導き出せました。

これらの状況を打開するには、少なくとも障害者雇用率や助成金制度を前提とした、従来の職場開拓の手法からの脱却を検討する時期なのではないかと考えられます。

### 【問3】定着支援の取り組みについて

定着支援に関しては、多くのセンターが強みを生かした独自の取組みをしていますが、同時に課題も挙げられていました。

具体的には「なんでも支援機関にお願いをしてくる」等の支援機関に頼り過ぎる状況があるため、企業側と中ポツセンターとの連携の在り方や役割分担の明確化の必要性があるといった回答や、定着支援の基本的な取り組みや基準、マニュアルが中ポツセンターになく、それぞれの企業や障害者と相談して支援頻度等を決めているため、支援頻度を高く希望する企業や障害者、その他の従業員の場合、それぞれのスキル向上に大きな課題を残す結果になるといった回答もありました。

調査結果から、就職前のアセスメントを十分に行うことや職場見学・実習を通じてのイメージづくりが重要であると考えられます。

今回のアンケート調査では、「中ポツセンターの支援の限界」を理解すると同時に、新たなステージへ移行していく必要性を問う良い機会となったのではないかと考えられます。また時代の変化とともに今後の「障害者雇用施策をどう変革させていくか」を、われわれ専門家に求められた問いであるとも理解しました。この他にも、いくつかの課題が挙げられましたが、紙面の関係で詳細は年度末に提出する「千葉県障害者就業・生活支援センター協議会意見書」に譲りますので、そちらをご一読ください。

## 障害者就業・生活支援センター 一覧

名 称	郵便番号	住 所	電話番号	FAX番号
障害者就業・生活支援センター あかね園	275-0024	習志野市茜浜3-4-6	047-452-2718	047-408-1050
障害者就業・生活支援センター 千葉障害者キャリアセンター	261-0002	千葉市美浜区新港 43番地	043-204-2386	043-246-7911
障害者就業・生活支援センター ビック・ハート柏	277-0005	柏市柏1-1-11 ファミリかしわ3F	04-7168-3003	04-7168-3006
障害者就業・生活支援センター 東総就業センター	289-2513	旭市野中3825	0479-60-0211	0479-60-0212
障害者就業・生活支援センター ふる里学舎地域生活支援センター	290-0265	市原市今富1110-1	0436-36-7762	0436-36-7612
障害者就業・生活支援センター 就職するなら明朗塾	285-0026	佐倉市錦木仲田町9-3	043-235-7350	043-235-7351
障害者就業・生活支援センター 山武ブリオ	299-3211	大網白里市細草3221-4	0475-77-6511	0475-77-3399
大久保学園 障害者就業・生活支援センター	274-0054	船橋市金堀町499-1	047-457-7380	047-457-7131
障害者就業・生活支援センター 中里	294-0231	館山市中里291	0470-20-7188	0470-28-2080
障害者就業・生活支援センター エール	292-0067	木更津市中央1-16-12 サンライズ中央1F	0438-42-1201	0438-25-5250
障害者就業・生活支援センター ビック・ハート松戸	271-0047	松戸市西馬橋幸町117 ロザール松戸109号室	047-343-8855	047-343-8860
障害者就業・生活支援センター 香取就業センター	287-0101	千葉県香取市高萩 1100-2	0478-79-6923	0478-75-1688
障害者就業・生活支援センター 夷隅ブリオ	298-0004	いすみ市大原8748-5	0470-62-6641	0470-62-6642
障害者就業・生活支援センター 長生ブリオ	297-0012	茂原市六ツ野2796-40	0475-44-4646	0475-44-7798
障害者就業・生活支援センター いちされん	272-0026	市川市東大和田1-2-10 市川市分庁舎C棟内	047-300-8630	047-300-8631
障害者就業・生活支援センター はーとふる	278-8550	野田市鶴奉7-1 野田市役所内1階	04-7124-0124	04-7124-0124

## 編集後記・広報部会より

広報部会では今年度、連絡協議会のホームページの維持管理、広報誌の発刊、パンフレットの作成を行いました。パンフレットに関しては、中ポツセンター及び当連絡協議会の目的・活動について、また、圏域図により各センターの連絡先等を明記した内容にいたしました。ホームページでは、広報誌やパンフレットの他、タイムリーな情報発信を行っておりますのでぜひご覧ください。

広報部会 福原 孝司

パンフレットデータはこちらからどうぞ(<http://www.chiba-centernw.com/pamphlet/pamphlet1501.pdf>)



## 事務局

名 称: 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会  
障害者就業・生活支援センター  
ふる里学舎地域生活支援センター  
住 所: 千葉県市原市今富1110-1  
電 話: 0436-36-7762  
FAX: 0436-36-7612  
E-mail: fgakusya-shien@abelia.ocn.ne.jp



ホームページもご覧ください  
<http://www.chiba-centernw.com/>